

タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1217		
科目名	日本を考える		
担当教員			
対象学年	1年	開講学期	後期
曜日・時限	金 5		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	リテラシー		
科目の位置付け（開発能力）	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。</p> <p>DP2-B〔自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢〕自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。</p> <p>DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>DP3-H〔理論的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>DP4-F〔探求力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>DP7-C〔他者理解・倫理観・公共心〕人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。</p> <p>DP7-L〔協働力・牽引力〕集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。</p> <p>DP8-M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状況に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連</p> <p>A1 グローバル感覚（10%） B1 自己啓発（20%） C1 倫理的思考・社会認識（10%） F1 探究と論拠（10%） G1 状況把握（10%） H1・H2 論理的思考・批判的思考（10%） I1・I3 理解・分析と読解・情報分析（10%） K1・K2 ライティングコミュニケーション・オーラルコミュニケーション（10%） L1 チームワーク（5%） M1 総合的・応用的学修（5%）</p>		

教員の実務経験	—				
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 2 進学期～3 発展期				
科目概要・キーワード	<p>オンライン授業（同時双方向型）で実施します。テーマに応じた2回分の授業を1つのユニットとし、授業を展開します。</p> <p>15回の授業を6つのユニット（12回分）、導入（第1回）、中間振り返り（第10回）及び自己省察・総括（第15回）で構成します。各ユニットでは、歴史、文化、社会、環境、家族、未来をテーマに、他学部の学生同士でグループワークを行う。この科目は、「自主創造の基礎」のワールド・カフェのように、他学部の学生とグループを形成し、各ユニットのワークを行っていく。授業回によってグループメンバーの入替を行うなど、多様な価値観に触れながらグループワークを進めることとなる。また、各ユニットの1回目の事前学修では、ユニットテーマに関連する動画を視聴し、自分なりの意見を予め用意した上で授業に臨む。</p> <p>第1回：日本を考えよう（導入） 第2回・第3回：近代に向かう日本 《ユニット1》 第4回・第5回：日本文化の特徴を考える 《ユニット2》 第6回・第7回：日本の労働と格差のあり方 《ユニット3》 第8回・第9回：日本が直面している地球環境問題の現状《ユニット4》 第10回：中間振り返り 第11回・第12回：日本の家族のあり方 《ユニット5》 第13回・第14回：日本の最先端から見る未来 《ユニット6》 第15回：自ら道をひらく（自己省察と振り返り）</p>				
授業の趣旨	<p>■副題 日本の歴史、文化を理解し、世界情勢を踏まえて未来を考える。</p> <p>■授業の目的 日本大学の「目的および使命」を踏まえ、「世界との対比、過去や未来を見据えながら、日本の歴史・文化・社会・精神・自然・環境などを理解し、日本人らしさや感性を踏まえて、自ら世界に“日本を発信することができる人材の育成”を目指します。</p> <p>■授業のポイント 動画教材の視聴やグループ討論を通じて、多角的視点による発想・価値観に触れることができます。各回、設定するトピックは、過去や未来、世界との対比を踏まえて、立体的に物事が捉えられることができるように取り組んでいきます。</p>				
総合到達目標	<p>■異文化を尊重しつつ、日本の特質を理解して伝えたり、我が国が直面する社会問題の解決法を見出したりするために、グループ学修の場で、自らの考えを他者と述べ合い、課題を議論し合うことを通じて、コミュニケーション力や問題発見・解決力を修得する。</p> <p>■自己を省察して自らの今後の学び方や生き方を自覚するために、多様な観点から日本を見つめ、国際社会など世界とのつながりを認識し、自己の立ち位置を理解する。</p>				
成績評価方法	<p>■中間レポート [10点] ・ 期末レポート [30点] （40%）</p> <p>■自己学修シート1～12 [3点×12回=36点] （36%）</p> <p>■協働力チェック1～6 [4点×6回=24点] （24%）</p>				
履修条件	—				
履修上の注意点	—				
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本を考えよう</p> <p>②授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆オンラインで使用するツールの説明・確認 ◆科目の概要や成績評価等の説明 ◆第1回用の学修動画の視聴 ◆グループワーク <p>③予習(60分) シラバスを熟読し、この科目の趣旨や目的、授業方法などを事前に理解する。また、「ミライツクル-Learning Guide」と日本大学ホームページから「教育の目的」「日本大学教育憲章」を見ることで「日本大学マインド」を理解する。</p> <p>④復習(120分) 授業で見た動画を再度視聴し、次回からの授業の流れを理解しておく。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本を考えよう</p> <p>②授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆オンラインで使用するツールの説明・確認 ◆科目の概要や成績評価等の説明 ◆第1回用の学修動画の視聴 ◆グループワーク <p>③予習(60分) シラバスを熟読し、この科目の趣旨や目的、授業方法などを事前に理解する。また、「ミライツクル-Learning Guide」と日本大学ホームページから「教育の目的」「日本大学教育憲章」を見ることで「日本大学マインド」を理解する。</p> <p>④復習(120分) 授業で見た動画を再度視聴し、次回からの授業の流れを理解しておく。</p>
回	内容				
1	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本を考えよう</p> <p>②授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆オンラインで使用するツールの説明・確認 ◆科目の概要や成績評価等の説明 ◆第1回用の学修動画の視聴 ◆グループワーク <p>③予習(60分) シラバスを熟読し、この科目の趣旨や目的、授業方法などを事前に理解する。また、「ミライツクル-Learning Guide」と日本大学ホームページから「教育の目的」「日本大学教育憲章」を見ることで「日本大学マインド」を理解する。</p> <p>④復習(120分) 授業で見た動画を再度視聴し、次回からの授業の流れを理解しておく。</p>				

2	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 近代に向かう日本①</p> <p>②授業概要</p> <p>◆授業ガイダンス</p> <p>◆グループ討議A（自己学修シート1の内容を踏まえ、グループ内で意見共有を行う）</p> <p>◆グループ討議B（グループを交換し、グループ討議Aでの内容を紹介し合う）</p> <p>◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約</p> <p>◆自己学修シート1の回収と次回の予告</p> <p>③予習(120分)</p> <p>ユニット1の動画を視聴し、その動画に現れた事象以外に明治時代になって変わったことを調べ、それらの事象に対して、自分は何を思い、どう評価するのか「自己学修シート1」にまとめておく。</p> <p>④復習(120分)</p> <p>グループ内討議の内容を振り返る。出された意見の中に登場する事象を調べ、「なぜ取り入れたのか」「なぜ消えたのか」などの事実を確実に理解できるようにする。</p>
3	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 近代に向かう日本②</p> <p>②授業概要</p> <p>◆授業ガイダンス</p> <p>◆グループ討議A（自己学修シート2の内容を踏まえ、グループ内で討議する）</p> <p>◆グループ間討議（他のグループと合同で討議を行い、広く意見を共有し合う）</p> <p>◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約</p> <p>◆学生同士の協働力チェック</p> <p>◆自己学修シート2の回収と次回の予告</p> <p>③予習(120分)</p> <p>ユニット1の動画を再度視聴し、日本が近代化するにあたって対外的にどのような視点を持っていたのか、その是非を踏まえて各自で考えて「自己学修シート2」にまとめてくる。</p> <p>④復習(120分)</p> <p>授業で取扱った事例について、さまざまな参考文献、インターネットなどを通して理解を深めていく。</p>
4	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本文化の特徴を考える①</p> <p>②授業概要</p> <p>◆授業ガイダンス</p> <p>◆グループ討議A（自己学修シート3の内容を踏まえ、グループ内で討議し、最重要課題を決定する）</p> <p>◆グループ討議B（グループを交換し、グループ討議Aで決めた最重要課題を紹介し合う）</p> <p>◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約（グループ討議Bを踏まえ、最重要課題を再考する）</p> <p>◆自己学修シート3の回収と次回の予告</p> <p>③予習(120分)</p> <p>ユニット2の動画を視聴し、「自己学修シート3」を用いて、自分なりの意見をまとめておく。</p> <p>④復習(120分)</p> <p>授業で取扱ったテーマについて、本、雑誌又はインターネット等で各自確認したり、実際に体験してみたりする。</p>
5	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本文化の特徴を考える②</p> <p>②授業概要</p> <p>◆授業ガイダンス</p> <p>◆グループ討議A（自己学修シート4の内容を踏まえ、グループ内で討議する）</p> <p>◆グループ間討議（他のグループと合同で討議を行い、広く意見を共有し合う）</p> <p>◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約</p> <p>◆学生同士の協働力チェック</p> <p>◆自己学修シート4の回収と次回の予告</p> <p>③予習(120分)</p> <p>ユニット2の動画を再度視聴し、「自己学修シート4」を作成する。さらに、グループ</p>

	<p>で決定した最重要課題について、自分なりの新しい考えをまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 授業で取りまとめた提案について、本、雑誌又はインターネット等を通して確認したり、実際に体験してみたりする。</p>
6	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本の労働と格差のあり方①</p> <p>②授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆授業ガイダンス ◆グループ討議A(自己学修シート5の内容を踏まえ、グループ内で討議し、最重要課題を決定する) ◆グループ討議B(グループを交換し、グループ討議Aで決めた最重要課題を紹介し合う) ◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約(グループ討議Bを踏まえ、最重要課題を再考する) ◆自己学修シート5の回収と次回の予告 <p>③予習(120分) ユニット3の動画を視聴し、日本の労働と現代社会の格差の現状について「自己学修シート5」を用いてまとめる。</p> <p>④復習(120分) 授業を振り返り、様々な意見や考えがあることを理解する。</p>
7	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本の労働と格差のあり方②</p> <p>②授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆授業ガイダンス ◆グループ討議A(自己学修シート6の内容を踏まえ、グループ内で討議する) ◆グループ間討議(他のグループと合同で討議を行い、広く意見を共有し合う) ◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約 ◆学生同士の協働力チェック ◆自己学修シート6の回収と次回の予告 <p>③予習(120分) ユニット3の動画を再度視聴し、「自己学修シート6」を作成する。さらに、前回の授業の際に、自グループで挙げられた最重要課題(日本の労働と格差をめぐる社会的課題)を、どのように解決するかを考える。</p> <p>④復習(120分) 授業を振り返り、様々な意見や考えがあることを理解する。</p>
8	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本が直面している地球環境問題の現状①</p> <p>②授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆授業ガイダンス ◆グループ討議A(自己学修シート7の内容を踏まえ、グループ内で討議し、最重要課題を決定する) ◆グループ討議B(グループを交換し、グループ討議Aで決めた最重要課題を紹介し合う) ◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約(グループ討議Bを踏まえ、最重要課題を再考する) ◆自己学修シート7の回収と次回の予告(フィードバック方法:第〇回授業で解説します。) <p>③予習(120分) ユニット4の動画を視聴し、地球環境問題の現状について、「自己学修シート7」を用いて、自分の意見や考えをまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 授業で取りまとめた現状と課題について、ニュース、新聞又はインターネット等で確認してみる。</p>
9	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本が直面している地球環境問題の現状②</p> <p>②授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆授業ガイダンス ◆グループ討議A(自己学修シート8の内容を踏まえ、グループ内で討議する) ◆グループ間討議(他のグループと合同で討議を行い、広く意見を共有し合う)

	<ul style="list-style-type: none"> ◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約 ◆学生同士の協働力チェック ◆自己学修シート8の回収と次回の予告 <p>③予習(120分) ユニット4の動画を再度視聴し、「自己学修シート8」を作成する。さらに、授業で取りまとめた現状と課題に基づき、自分達に実行可能な対策案について、自分の意見や考えをまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 授業で取りまとめた現状と課題及び自分達に実行可能な対策案について、ニュース、新聞又はインターネット等で確認してみる。</p>
10	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 中間振り返り</p> <p>②授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆授業ガイダンス ◆グループ討議A(中間レポート準備シートをグループ内で紹介し合う) ◆中間レポートの作成(321~400字でまとめる) ◆中間レポートの回収と次回の授業予告 <p>③予習(120分) 中間レポート課題作成に向けた考察をするために、「中間レポート準備シート」を用いて、ここまで学んできた4つのテーマ(ユニット)の中で、最も興味があったもの、さらに探求したいものを明確にし、まとめてくる。</p> <p>④復習(60分) これまで学修してきたユニット1(近代に向かう日本)、ユニット2(日本文化)、ユニット3(労働と格差)又はユニット4(地球環境問題)の中で、特に興味のある分野について、より深く理解するために、ニュース、新聞又はインターネット等で関連する内容を確認し、改めて考える。</p>
11	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本の家族のあり方①</p> <p>②授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆授業ガイダンス ◆グループ討議A(自己学修シート9の内容を踏まえ、グループ内で討議し、最重要課題を決定する) ◆グループ討議B(グループを交換し、グループ討議Aで決めた最重要課題を紹介し合う) ◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約(グループ討議Bを踏まえ、最重要課題を再考する) ◆自己学修シート9の回収と次回の予告 <p>③予習(120分) ユニット5の動画を視聴し、「自己学修シート9」を用いて、これまでの日本の家族のあり方が、現在、どのように変化しているかをまとめる。</p> <p>④復習(120分) 授業を振り返り、様々な意見や考えがあることを理解する。</p>
12	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本の家族のあり方②</p> <p>②授業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆授業ガイダンス ◆グループ討議A(自己学修シート10の内容を踏まえ、グループ内で討議する) ◆グループ間討議(他のグループと合同で討議を行い、広く意見を共有し合う) ◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約 ◆学生同士の協働力チェック ◆自己学修シート10の回収と次回の予告 <p>③予習(120分) ユニット5の動画を再度視聴し、「自己学修シート10」を作成する。さらに、前回の授業の際に、グループで考えた最重要課題を、どのように解決するか考える。</p> <p>④復習(120分) 授業を振り返り、様々な意見や考えがあることを理解する。</p>
13	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本の最先端から考える未来①</p> <p>②授業概要</p>

	<p>◆授業ガイダンス</p> <p>◆グループ討議A（自己学修シート11の内容を踏まえ、グループ内で討議し、最重要課題を決定する）</p> <p>◆グループ討議B（グループを交換し、グループ討議Aで決めた最重要課題を紹介し合う）</p> <p>◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約（グループ討議Bを踏まえ、最重要課題を再考する）</p> <p>◆自己学修シート11の回収と次回の予告</p> <p>③予習(120分)</p> <p>ユニット6の動画を視聴し、「自己学修シート11」を用いて、そこで取り上げられているいくつかの分野の最新状況が、過去の事象と繋がりがあをしっかりと把握する。その中で自分が最も興味のある分野を選び、その事柄について、自分の身の回りで実際に感じる状況などと突き合わせ、そのことが現在の自分の生活、社会とどう関わっているかを考察する。</p> <p>④復習(150分)</p> <p>身近で便利なものや、新しい流行の特色を考え、今回の授業を参考に、自分でなぜそれに興味があるのかを考えてみる。さらに、それらの考えを深めるために、書籍、新聞又はインターネット等を通じて自分で調査する。</p>
14	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 日本の最先端から考える未来②</p> <p>②授業概要</p> <p>◆授業ガイダンス</p> <p>◆グループ討議A（自己学修シート12の内容を踏まえ、グループ内で討議する）</p> <p>◆グループ間討議（他のグループと合同で討議を行い、広く意見を共有し合う）</p> <p>◆グループ討議Aのグループに戻り意見集約</p> <p>◆学生同士の協働カチェック</p> <p>◆自己学修シート12の回収と次回の予告</p> <p>③予習(120分)</p> <p>ユニット6の動画を再度視聴し、「自己学修シート12」を作成する。さらに、1回目の選んだ事柄（分野）についての最重要課題について、動画では見えてこなかったことや問題点を書籍、新聞又はインターネット等を活用し、その事柄が未来へ展開した時の姿をイメージするために、自分で調査・分析をする。</p> <p>④復習(150分)</p> <p>授業で取り組んだことを参考又はきっかけにして、自分で興味があることの未来の姿を考え、日本や世界にどう貢献するのか、その中での自分の姿をシミュレーションしてみる。</p>
15	<p>【オンライン授業】</p> <p>①授業テーマ 自ら道をひらく（自己省察と総括）</p> <p>②授業概要</p> <p>◆授業ガイダンス</p> <p>◆グループ内討議（期末レポート準備シートをグループ内で紹介し合う）</p> <p>◆期末レポートの作成（641～800字でまとめる）</p> <p>◆期末レポートの回収と授業の総括</p> <p>③予習(180分)</p> <p>期末レポート課題作成に向けた考察をするために、「期末レポート準備シート」を作成し、これまでのすべての授業を振り返り、これらの中から浮かび上がる日本の特質又は日本人の気質を考えてくる。</p> <p>④復習(120分)</p> <p>期末レポート課題作成にあたって、参考にした他者の意見や考えを整理し、この授業における学修成果を今後の学びや自身の生き方にどう活かすかをシミュレーションしてみる。</p>
関連科目	「自主創造の基礎（RMGT/SSCS1215）」
教科書	ミライヨツクル Learning Guide（日本大学FD推進センター）
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	<p>■前期 特になし</p> <p>■後期 Google Classroomで対応</p>
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.